

各 位

会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩本 英親
 (JASDAQ・コード 7886)
 問合せ先 責任者役職名 取締役経営企画室長
 氏 名 石川 恵一
 (TEL 03-3834-3111)

構造改革の実施とそれに伴う今期業績予想の修正について

本年 4 月から外部コンサルタントに委託して経営課題の洗出しならびに事業計画の見直し作業をすすめてまいりましたが、今般最終報告を受け、本日開催の当社取締役会で見直し後の事業計画の達成のために必要な構造改革の実施につき正式決定いたしましたのでその概要をお知らせするとともに、今期の業績予想につきましても修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 構造改革について（施策の概要）

- (1) 組織改編（10 月実施）・・・機能型組織への転換
- (2) 拠点集約（年内実施）・・・本社機能移転、生産拠点統廃合
- (3) 人件費削減（年内実施）・・・賞与不支給、人員削減
- (4) 他経費削減（実施中）・・・物件費の更なる節約

なお、具体的な施策内容につきましては今般社内には設置した、「構造改革委員会（委員長：社長）」において決定を行い実行してまいります。

2. 施策実施効果について

上記の各施策を実施することにより、売上の落ち込みを考慮しても、今期（55 期）は営業利益では施策実施前予想比 270 百万円の改善効果を見込み、また来期（56 期）につきましても営業利益で同 390 百万円の改善効果を見込んでおります。

3. 平成 22 年 3 月期通期業績予想値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	19,100	100	30	50
今回修正 (B)	18,100	110	35	▲135
増減額 (B - A)	▲1,000	10	5	▲185
増減率	▲5.2%	10.0%	16.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	20,205	▲174	▲337	▲1,214

(2) 修正理由

当社ならびにお客様を取り巻く環境には引き続き厳しいものが見られ、最近の状況を踏まえて見直した結果、売上高において下方修正をいたしました。一方、上記の構造改革を具体的に実施することで営業利益、経常利益では改善がみられるものの、当期純利益においては構造改革に要する費

用が見込まれ、下期において特別損失での処理を予定しているため下方修正をいたしました。なお、海外 2 拠点（連結対象 3 子会社）につきましては、6 月末を以って操業停止をいたしましたので現時点で把握可能な計数を織り込んでおります。

(3) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	10,600	10	70	75
今回修正 (B)	9,675	30	80	▲75
増減額 (B - A)	▲925	20	10	▲150
増減率	▲8.7%	200%	14.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	10,305	▲191	▲66	▲988

(4) 修正理由

連結業績修正予想と同様（但し、海外 2 拠点分は除く）であります。

4. 平成 22 年 3 月期第二四半期業績予想について（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

第二四半期の業績予想につきましては、今回の構造改革の実施ならびに効果が反映するのが年度下期に集中するため、売上の減少等で影響が予想されますが現在精査中のため今後計数が確定次第速やかに開示いたします。

今回の売上ならびに当期純利益の下方修正をはじめとする業績予想の修正につきましては、株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑ならびにご心配をおかけいたしますが、構造改革をより具体的にスピード感を以って実行してまいりますので何卒ご理解ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上